

日西経済友好会 第 87 回定例会

2018.5.25 サロンジュリエ銀座

『^{イスパニヤ}新西語事始め』(論創社)刊行記念

スペイン語と出会った日本人

浅香武和

はじめに

España の日本語表記

西班牙(江戸末期)、伊班亜(明治六年)、いすぱにあ、イスパニヤ、すぺいん、スパーエン、スペインなど。スパニシエともある。

1. 私のスペイン語事始め

2. 日本に渡来した最初のスペイン人

ポルトガル船種子島来航 1543.9.23

ペロ・ディエス **Pero Díez 1544.8** 鹿児島来航

フランシスコ・ザビエル Francisco Javier 鹿児島上陸 1549.8.15

3. 江戸期の漂流民とスペイン語

阿波の漁民 善助と初太郎 **1841-1843** メキシコ マサトランに寄寓

4. 明治期のスペイン語事始め

4-1 エミリオ・ビンダ **Emilio Binda (1850-1902)** のこと

高等商業学校でスペイン語教授する **1890-1902**

4-2 片桐安吉 (?-1919.1.16) のこと

神戸で『日本西班会話編』を刊行 **1898.2**

おわりに **1897** 年にスペイン語が教授されてから **110** 年後の現在、スペイン語学習者は 6 万人にのぼる(**2006** 年調査統計)。

『新西語事始め』目次抜粋

第一部 総論

日本人とスペイン語の出会い
スペイン語辞書発達小史

第二部 出会いから江戸末期まで

日本に渡航した最初のスペイン人 ペロ・ディエス
亜墨利加でイスパニヤを学んだ日本人 初太郎 ほか

第三部 明治期

日本におけるスペイン語教育の創始者 エミリオ・ビンダ
日本人による最初のスペイン語会話書 片桐安吉 ほか

第四部 大正期

『和西新辞典』編纂者 金沢一郎
メキシコ移民の『西和辞典』 照井亮次郎
海外植民学校スペイン語教師 リカルテ ほか

第五部 昭和期

孤高のスペイン語辞書編纂者 村岡玄
放送によるスペイン語講座の誕生 笠井鎮夫 ほか